

教育覚聴視

月報

No. 7

発行日 3.2.1.18
 発行 岡崎市小中学校
 編集 視聴覚教育協会
 印刷 岡崎市明大寺町
 印刷 株式会社
 電話 340,2592

合研をどうすすめてきたか

— 小学校社会科三年の場合 —

◎目標の樹立をどのようにしたか。

(単元 矢柞川と上水道)

イ原案

・郷土の自然条件を理解し、自然と人間とは不離の關係にあり、人間は自然に適応し、これをうまく利用することによって、私たちの生活が便利になつて来たことを知る。

ロ第三次修正案

・下町の生活では、各方面に亘つて水が必要とされていること。

・飲料水がなければ生活は成り立たない。

い。

・工場でも水がなければ仕事ができない。

い。

・農業用水としても水は必要である。

・電力をおこすにも水は必要である。

2. 町の生活に必要な水は、おもに矢柞川から利用していること。

3. 矢柞川を水道として利用できるため

には、町の人々の組織的な協力体制

がなければならぬこと。

・町の人々がいつでも容易に水が利用

出来るためには、水を大量にためて

おく施設が必要なこと。

・せいつな水が得られるようなしく

みが必要なこと。

・町のどこの土地の人も水が得られる

ようなしくみが必要なこと。

・こういう水道の施設を作る仕事は、

時間がかかるし大量の物資と人を動

員していること。

・しかもたえずその維持について気を配らなくてはならないこと。

・しかし岡崎の町でも矢柞川の水を水道として利用できない箇所もあり、

今後必つと大きな力を注ぐことが必要とされていること。

4. 工業用水を多量にうるためには、大がかりな施設がないこと。

5. 川の水の害のために、人々の組織的な協力体制を必要としていること。

昨年の五月下旬、単元「矢柞川と上水道」の展用を進めるために、たてたのが原案の目標である。第三次修正案は十二月初旬、第三次中間指導を受ける直前に、

始んど最終案として作つた展開例の目標である。双方の目標を比較検討して、目標樹立の見解を述べたい。

イ具体性 一見して判るように、原案の目標は、非常に抽象的であり、第三次案は、具体的である。原案からはこの単元でどういう学習を進めていくのか、さっぱり見当さえつかない。第三次案では、それがかなりはつきりしていて、何について、どの立場から学習させるのかほぼ理解出来る。

ロ関連性 第三次案の(1)(2)(3)(4)(5)の相

互の問のつながりを考えたい。(1)で水は人間生活になくてはならないものである点を、はっきりみとめさせ、

(2)で岡崎市では水の大部分を矢柞川から得ていることに気付かせ、(3)では上水道をつくるには組織的な協力体制のもとに、多大の金と努力を

つぎこまれたもので、運営は計画的に行われていること、(4)(5)(6)では工業・農業用水・水害対策を同じ立場から取り扱っている。これらの目標の間はずじが通つていて、其の上関連し合つていなければならぬ。

◎教材の決定をどのようにしたか。

(イ)原案
 目標、矢柞川の特徴と利用のあらましを知る。

教材、砂原が多い、浅瀬が多い、水が少なく、川床が附近の土地より高いこと。

(ロ)第三次修正案
 目標、飲料水がなければ生活は成り立たない。工場でも水がなければ仕事ができない。

教材、市民が水道を通して毎日水を消費している事実。

・工場で大量の水を毎日消費している事実。(註) 事実とは社会の現象をいふ(八次学習)

第三次中間指導会報告

どんな方法で指導を受けたら効果が上るだろうかというが、第二次中間指導会後の感想だった。単元の展開方法・教材映画の分析と利用方法、或は実践記録の見方などの当面の研究課題が中心になると予想していたが、見事にはずれて他の学習指導一般の問題に質疑が集まった。これは一体どうしたわけだろう。

第三次中間指導を受ける態度を次のように決めた。

「……………具体的な面の指導を受けずに終ってしまった。ここに問題が残った。従って今回は展開例も一応はまじめ、観察記録も検討し、フィルムとの分析も手掛けたという段階で、具体的な指導を受けるのでなければいけない。」

- 要するに、作成した研究資料によって、具体的な指導を受けようというのが、今回のねらいであった。次に指導内容の一二について御紹介する。
- (一) 単元の内容をすっきりさせよ。
 - (二) 四耳 理科 海からとれるもの
 - (三) 湖の満干。
 - (四) 環境に応じたせいひみつ。
 - (五) 生物の利用。
 - (六) 塩の製法と利用。
- この四目標から内容をほぼうかがうことが出来る。この単元には、相互に関

係のない内容が混然としている。海に属した自然現象というだけで同一単元にまとめるのは不自然で、目標によって単元内容をすっきりさせなくてはならない。次にその修正案を示す。

- ・単元 海への動物
- ・目標 動物はかんきょうようにてきして生きていく。
- (一) 理科学習と社会科学習

前述の単元の目標の④塩の製法と利用は、天然資源のもんだいで、社会科学習の内容に近い。理科学習としては、潮のちようかいという性質を理解させるのがねらいである。社会科学・理科の学習内容ははっきり区別せねばいけない。

- (二) 教材映画と教師の指導
 - ・問題 海辺にいる動物にはどんなものがいるか。
 - ・教材映画 海辺の動物
- 映写後の取り扱いに於いて、「それでは動物の名はその左にして、今度は様子やすんでいる場所をかきなさい」という指導がなされている。ねらいは海辺の動物の環境と生態のかんけいの理解にあるのだから、なまえ・様子・場所をきれいに扱っては無意味になる。教師の指導は画面をどう考察させるかという点にむけねばならない。

(一) 目標との関連性 原案の目標と教材のかんれんが、大へんあいまいである。矢沢川の特色が何であるか、その内容が明らかでない、これでは目標とは言えない。従って、教材としてあげたこととがら、あいまいなものになってくる。これでは、学習指導の手引きとしてたよりない。

この点を第三次案についてみると、実際にはっきりしている。目標と教材との間にピンと糸がはってある。この関係を重ねみると、教材を決定するには目標から社会の現象を細かく分析して、其の中の最もつながりの密なものを選定しなくてはならない。

- (三) 社会的現象と同様に、映画や幻灯についても、目標にたらしめてこまかく分析しなくてはならない。その結果、使う位置がきまる。それをしないで、まんならと使うのは、教材として学習に利用しているとは言いがたい。
- (四) 具体性 社会科学の教材は、明瞭な社会の事実でなければならぬ。其の上その事実が児童に体験出来る、ことが望ましい。飲料水がなくては生活が成立し

ないにたいし、毎日上水道の水を使っている事実はどうか、充分な教材であると思う。然し、児童の前に提出しにくい教材もある。ここに視覚教材が利用される場がある。例えば本単元中、水道高の人が日夜その維持運営に努力していること、目標にたいし、提出できる教材は何か。この際その事実を細かく撮った映画「都市と水道」の中には、適切な画面がある。

(二) 教材と資料 この混同が、社会科学習自体をゆがめていていることに気がつき、区別につとめた。

目標・市民はつねにせいけつな水を使うようとしていることを理解させる。教材・甲山浄水場に、ろか池や浄水池を設備している事実。

資料・甲山浄水場の写真。同じく構造を示す掛図。

即ち、資料は教材を理解させる上の補助材料、又は教材がどこにあるかを明らかにするものといつてもよい。このはっきりした区別が、社会科学習の本質と実に関係が深い。



中間報告会各部研究報告のあらまし

学年・単元・内容

(社会科)

小一「じようぶなからだ」

理科学習との区別をいかに考えたか

小二「ゆうびん」

教材分析に於て映画をいかに取り入れ
たか

小三「矢作川と上水道」

目標を達成するために教材をいかに決
定したか

小四「矢作川流域の開発」

小五「日本の水産業」

小六「日本の貿易」

実践記録をいかに単元構成に反映させ
たか

中一「日本の農業」

日本農業の問題をいかに地誌と結びつ
けて展開したか

中二「古代國家の成立」

正史意識を昂めるために教材をいかに
決定したか

中三「裁判のはたらき」

なぜ映画を教材として取り上げたか

(理科)

小一「たのしい食事」

学習目標と視覚教材 (反省より)

小二「海への生き物」

教材の決定をどのようにしたか

小三「虫の一生」

どのように目標を決定してきたか

小四「海の生物」

映画教材の分析をどのようにやったか

小五「水蒸気と雲」

目標が学習活動にどう生かされている
か

小六「からだのはたらき」

教材の選定をどのようにしたか

中一「生物の生活」

中二「からだのはたらき」

理科教材としてのぞましい幻灯ファイル
の内容

中三「岩石と鉱物の利用」

展用例の考察と改訂

協会加入校映写機保有状況 (昭三二二二五現)

校名	機種	台数	校名	機種	台数
甲山中学校	北辰(大)	/	山中小学校	北辰(大)	/
梅園小学校	北辰(大)	/	本宿小学校	北辰(大)	/
根石小学校	ワシノ	/	河合中学校		
美川中学校	北辰(大)	/	生平小学校	北辰(大)	/
男川小学校	北辰(大)	/	秦梨小学校		
美合小学校			常盤中学校		
南中学校			常盤南小学校		
岡崎小学校	北辰(大)	/	常盤東小学校	北辰(大)	/
羽根小学校	エルモ	/	常盤小学校		
電海中学校	北辰(大)	/	岩津中学校		
六名小学校	北辰(小)	/	岩津小学校		
三島小学校	エルモ	/	恵田小学校	北辰(大)	/
連尺小学校	北辰(大)	/	奥殿小学校		
茨中学校	アンプロ	/	細川小学校		
広幡小学校	北辰(大)	/	大樹寺小学校		
愛宕小学校			吞山中学校	光音	/
井田小学校	ベル	/	矢作中学校	エルモ	/
附属小学校	ベル	/	矢作東小学校	エルモ	/
附属中学校	ベル	/	矢作西小学校	エルモ	/
福岡中学校			矢作南小学校	エルモ	/
福岡小学校	エルモ	/	矢作北小学校	エルモ	/
東海中学校	北辰(大)	/	学校ライブラリー	北辰(大)	2
竜谷小学校	北辰(小)	/			
藤川小学校	北辰(大)	/			
計		四五校			34台

一月教材映画

理科・体育・音楽フィルム使用状況

フィルム名 霜と霜柱 (一〇分)
 適用学年 小四年 理科
 単元 冬の自然
 内容

の映画を使用し、適確な観察を伸ばすに有効な教材ともなるであろう。

- 霜の形の観察
- 霜の結晶のさまざま
- 部屋の窓にてできる霜のありさま
- 霜柱の観察

- 地球が円いこと
- 地球の自転

- (放速度撮影で数時間かかって伸びるようすを数十秒で見せる)
- 赤土と砂とは、霜柱に對してどう違うか
- 霜柱が麦畑の土を押し上げ、麦の根を切ること

- 地球の自転と自転との關係
- 太陽の運行と季節・公転・春分・夏至・秋分・冬至との關係

○寒い地方では鉄道線路や建物を持ち上げること
 ○低温室で人工的に霜柱をつくる装置
 使用法

○自転軸と自転との關係
 ○太陽の運行と季節・公転・春分・夏至・秋分・冬至との關係

冬の自然の学習中、雪や氷、霜柱のけつしよう等の観察が行われるが、時間的に色々な制限を受けるので、この映画によつて学習を効果的に出来ると思われる。さらに、観察の視点を与えるためにこ

の映画を使用し、適確な観察を伸ばすに有効な教材ともなるであろう。

音楽・体育	使用学校数	使用日数
底鉄棒	七六五四計	七六五四計
スタンプ	12418	239113
交響楽団	40329	7041038
小学校	627015	858021
あぶらげみ	365216	796729
あけはらちよう	4714338	5101837
池や小川の生物	1057325	20581043
海辺の動物	544013	107581043
蚊とぼうふら	249318	241381027
蛙とおたまじゃくし	20111	1111112
海底の動物	20111	1111112
採光と通風	20111	1111112
せんたく	565016	93741127
動物の成長	22318	2040406
根の働き	011	1044
野山の小鳥	038213	0312520
はえ	272135	1122520
葉の働き	030650	30308
ヒタミンの知識	20230	230308
痛取	031040	10101011
冬を越す動物	16000	00000
水のじゅんかん	16000	00000

中学校	使用学校数	使用日数
霜の一生	七六五四計	七六五四計
庄きているパン	243110	573419
胃と腸のはたらき	865019	11207038
動く地球	213064	14009
ういの発生	300	390
音波と音源	1560	000
蜘蛛	311167	1913023
火山三原山	024066	71009
ガラス	032050	8813021
木の看物石の着物	204065	0813010
原生動物	575017	4238009
血液のじゅんかん	001010	1000035
真空の世界	100	10000
霜と霜柱	100	10000
消化液の働き	32	542
植物の一生	21	31415
セメント	00202	0012022
凸レンズ	313077	140012
又物の働き	1000	10000
耳	243004	60000
蜜蜂	523022	734418
ラジオ	10032	00000

フィルム名 火事をなくする仕事(二〇分)
 適用学年 小二年 社会
 単元 おまわりさんとしようほう

内容

- 火災のようす
- 年間被害の線画
- 或る町の消防署の働き
- ・火災発生の連絡
- ・出勤(署員の動き、無線車の活躍など)
- ・火災現場での活動

(消防署の働きのみでなく、水道局の人々、電力会社の人、おまわりさん、幸のゆかり)

- ・消火機の器具の手入れ
- ・市内の消火施設や防火態勢の点検
- ・防火に対する市民の協力の必要なこと

(焚火、焚煙区域での喫煙、中日スタジアムの火災、防火建築、都市計画等)

使用法

この映画は、火事が大きな不幸をもたらすこと、消防署員の働き、市民の協力等を理解させるのに有効な教材として繰返し使用されることが望ましい。

フィルム名 社会保障 一巻(一〇分)
 対象と用途

近代社会が生みだす失業、病氣、事故などによって個人の生活が弱まった場合、国や社会は最低の生活を保障しなければならぬことを訴えて理解させるために、幾つかの事例をあげて描いたもので、政治や工業の単元に利用できる。

内容

職業安定所には毎日たくさん失業者が相談にきている。父が失業しその上病氣の家や、病死の家は福祉事務所が母親にいろいろな仕事の世話をしたり、老年者、身体不自由者には毎月固から補助金をだしている。

使用法

社会保障の問題を、政治学習の導入の資料として実施するか、映画を分析し職業安定所、福祉事務所などこの仕事の機構しらべから政治の問題として取り上げられる。またもにこれを取り上げれば、これへの改善の問題が当然、国会とが行政のこととむすんでくるとき、政治が悪い、日本が過渡期にあるということなどが必然的にでてくるであらう。資料的な立場で扱う方は、問題として適切であるから利用し易いであらう。

ライフ・ラリーだより

新購入フィルム 昭三一、一二、一〇

題名	巻数時間	内容
山をみどりに	2 分	木杖の乱伐の現状とその対策、植林の重要性、長い年月の組織的な保護育成対策、かくれた人々の努力
空の旅	25	飛行機に飛ぶ手続き、塔乗員の仕事、管制局の仕事、安全飛行のための人々の苦心、イレジビールコン、マーカールビーコンの作用、東京羽根田空港より福岡までの空の旅
大昔の生活	18	登呂遺跡と長野県尖石の遺跡を中心に採集生活から生産経済にうつる段階において人間の生活はどう変っていったか
鉄道の人たち	21	全国一日の鉄道利用者は一千万人といわれる、その列車を時間通り安全に動かすための組織
お金と私たち	20	日本の経済はどうしたら良くなるか、を中学校の社会科の教室で家計をあづかるお母さんたちも協力して明らかにしようとする。
アリの世界	18	身近かな昆虫であるアリの生態を捕えたものでアリの典型であるクロアリの観察

在庫ファイルの一覧表

昭和37年12月現在

103本

番号	小学校理科	番号	小学校社会科	番号	中学校理科	番号	中学校社会科
A 35	文響泉団	A 38	鉄道の人たち	A 36	免疫	A 43	お金と私たち
A 34	低鉄棒	A 30	大音の生活	C 6	セメント	A 42	瀬戸内海地方一
A 33	アリの世界	A 30	空の旅	A 9	カラス	A 41	瀬戸内海地方一
A 40	蛙の発生	B 28	山をめぐりに	A 32	ウニの発生	B 36	社会保障
A 39	歯車	B 27	児童会	A 27	植物の一生	B 35	裁判所と検察庁
A 37	試験管の使い方	B 26	お母さんの仕事	A 35	消化液のはたらき	B 34	社会生活
A 28	採光と通風	B 25	道路のはたらき	A 31	音波と音源	B 33	国情
A 31	根のはたらき	B 24	海上輸送	A 25	霜と霜柱	B 32	地国
B 33	ビタミンの知識	B 17	産業と電力	A 24	又物のはたらき	B 26	利根川
A 26	海底の動物	B 21	新風のはたらき	B 23	密蜂	B 29	果湖の洗う地方
A 23	池や小川の動物	A 3	炭坑の人々	B 22	木の着物の着物	C 17	段々畑の人々
A 22	葉のはたらき	C 3	源村のくらし	A 10	動く地球	C 18	石碓時代の村
A 19	せんたくの科学	B 10	電信のはたらき	B 13	胃と腸のはたらき	B 21	水害対策
A 20	ふはい	B 8	魚のとれるまで	B 20	生きているパン	C 16	北陸の野づら
A 8	はえ	B 9	火事をなくする仕組み	B 13	火山三原山	C 15	筑後平野
A 15	蛙とおたまじゃくし	B 12	香果市場	C 2	稲の一生	C 12	月の輪古墳
A 14	かどほうふら	B 18	ゆうびん	A 11	血涙のじゅんかん	C 7	新風土記(北陸)
C 1	あけはちよう	B 14	小売店の仕事	A 18	原生動物	C 13	通貨
A 17	あふらせみの一生	B 11	工業とその資源	A 4	月	C 11	首都東京
A 16	野山の小鳥	B 5	けいさつのはたらき	A 1	真空の世界	B 19	生活と塩
A 12	湖千狩	B 16	ゆうびん	A 6	耳	C 9	開発を待つ地点
A 2	手	B 4	ゆうびん	B 1	凸レンズ	B 15	日本のテンマーク農場
A 13	動物の成長	B 6	手工業	C 10	蜘蛛	B 17	たんぼの水
A 7	海辺の動物	B 4	都市と水道	C 5	ラジオの話	C 8	機械化は進む

3/年度

協会予算

岡崎市小中学校視聴覚協会

収入の部

項目	金額	備考
前年度繰越金	三五二二七一	
会費	一八〇〇〇〇〇	昭和三二年度 会員数 小学校 二一六〇六 中学校 一〇〇九四
募リンン費	五四〇〇〇	各校負担 月 一〇〇円
計	一八八九二二七一	四〇五 二〇一

支出の部

項目	金額	備考
フィルム購入費	一三一四〇〇〇	映画フィルム二九〇〇〇 幻燈フィルム二四〇〇〇
巡回映画借用費	九〇〇〇〇	一ヶ月 七五〇〇の割
月報印刷費	三五〇〇〇	一ヶ月 三五〇〇 年一〇回
専任者手当	九四〇〇〇	一ヶ月 七〇〇〇 年二回 賞与一〇〇〇〇
補品購入費	六八〇〇〇	フィルム棚五〇〇 オートバイ五〇〇〇 巻返三〇〇〇
消耗品費	三五〇〇〇	
研究会費	五〇〇〇〇	十一月実施予定の合同研究会
診理費	五〇〇〇〇	映写機 一〇〇〇〇 トリケット 三〇〇〇 オートバイ 一〇〇〇〇
ガソリン費	一〇四〇〇〇	
会議費	二〇〇〇〇	
教材複製費	一五〇〇〇	自走スライド
雑費	一〇〇〇〇	はいしよう保険 二〇八〇
予備費	四二二七一	
計	一八八九二二七一	

映画をうつすには、まず暗室を作る事に始まる。暗幕の完備している所では上映に大した労力はいらぬだろうが、それが不十分な所ではそれこそ大変だ。前の時間から自習でもさせて仕度にかからなくてはならない。高学年なら子供を使えばよいが低学年において何の役にも立たない。机の上に腰掛をのせ、ピンで幕をとめていく。曇った日は少し炬の光線は影響ないが、暗れた日とさたら本当に苦勞する。辛うじて暗室を作り、さあ、こんどは映写機だ。蓋まれてはと兼ねてから箱直室の押入れにしまつてあるため運び出さなくてはならない。自分一人でさすれば、それこそ三〇米の遠くまで行くには二三度は休まなくてはならない。女の先生に至っては全く不可能なことだ。いくら一生懸命やっても三十分はかかる。残片付けについても前と全く同じだ。



はならない。過日東京へ遊びに行つた際、或る学校へ立寄つた。教室を見せられた。至れり盡せりの説備、図書室に映写機あり理科室に映写機あり。しかもその映写機は台の上に常時つけてあり何時でも上映できる仕組みになっている。箱直室の押入れとは雲泥の差だ。田舎に注目者の運命かとあきらめて帰つた。

映写機も大方の学校が買え、フィルムも充分ではないが、数多くある現在、何をさておいても、完全な暗幕装置を何処の学校にも作る必要がある。講堂のようなどころには立派な暗幕装置はあつても、本当に必要な教室には間に合はせぬものが、現在の所多いのではなからうか？

これでは何時までたつても、映画が本当に生きた教育の道具として使われる日は来ないだろう。



(山本)

合研中間報告会の紹介

昭和三十年度の中から討話し、本年の五月からスタートした合同研究会は、理科・社会科・視覚の三つが合同し、約百余名の研究員が、『理科・社会科の学習を深めるために、視覚教材をどのように使用したらよいか』という主題で研究を進めて来た。

この間、国立教育研究所の先生から三次に亘って中間指導を受けると共に、他方各部会毎に相当数の会合を重ねた。どの研究員も、学級経営やその他校務の傍ら研究に従事して来たもので、その負担はまことに過重であった。

斯様に困難な条件の下で、約一ヶ年近くも研究を進めて来た研究業績を一応とりまとめて、一月十八日(金)にその中間報告会を開くことになった。

視覚教材の利用ということは、夫々理科・社会科の学習にふかくなることがあり、それは又、理科・社会科の在り方に関係した問題で、研究に従えば従う程、奥が深く、沢山の日時と多人数の組織的な研究体制がなければ、甚だ困難な

ことが明瞭になった。

ことが明瞭になった。かく考へる時、今回の合同研究会は、未だ初歩的ではあるが、在来の研究方法と趣きを異にしたもので、今直ちにその成果を言々すべきではないが、一応本市における新しい研究方式として注目していただきたいと思う。次に会の概略についてお知らせする。

記

一、主題 社会科・理科学習の研究は如何にあるべきか——映画・幻灯により社会科・理科学習指導の深化をめざして——

二、期日 一月十八日(金)
三、会場 岡崎市立三島小学校
四、指導者 国立教育研究所員 天口 新先生 岩井竜也先生 山口忠信先生 宮崎孝一先生

同 同
同 同
五、日程 九〇〇—九四〇 公所授業
九五〇—一〇三五 特設授業

一〇・四五—一〇五 挨拶
一一〇五—一一二五 指導者紹介・経過報告
一二二五—一二三〇 三島小学校報告

昼食・展示会

一〇〇—一二五〇 分科会

三〇〇—三三〇 分科会報告

三三〇—三五〇 全体指導

三五—四 閉会

四—五 懇談会

六、特設授業

小二 社会 消防署のおじさん 三島小 今井美枝

小四 理科 冬の天気ではどのような感じがつくか 三島小 宮本喜久雄

中一 社会 世界の気候 南中 柴田 正

中一 理科 星と太陽 美川中 中西克巳

七、分科会

(一)協賛主題

・単元の展開をどのように考へたらよいか

・目標と教材の分析をどのようにしたらよいか

・映画教材を学習にどのように位置づけたらよいか

・視覚教材による学習にはどのような

問題があるか
・教材映画による学習を効果的にするには、どんな点か考えられるか
・映画・幻灯による学習の留意点は、どうか

(二)司会者・提案者

分科会名	司会者	提案者
小学社会	加茂正雄	永田 績
小学理科	栗山良一	内田松夫
中学社会	山本忠男	早川正巳
中学理科	滝口忠男	荻野賢義
		犬塚益次

おとがき

新年おめでとう御座居ます。合同研究会中間報告会の関係から、月報十二月の発行を中止し、一月と合併して八ページで出すことになりました。

尚編集は合同研究特集といったものとし、他郡市の参加者を予想して、予算・在庫ファイルなども再掲いたしました。

